食品産業センター 加工食品国際標準化の取り組み

一般財団法人食品産業センター 事業推進部 加工食品国際標準化対策事務局

◆加工食品国際標準化

農林水産省は食品製造業の成長を促すため、農林水産物・食品輸出拡大の輸出額(2030年までに5兆円)を設定するとともに輸出拡大実行戦略を進めています。その中で、補助事業制度『加工食品国際標準化』を整備し、輸出先国・地域規制やニーズに対応した加工食品等の輸出支援体制の確立を目指しています。

食品産業センターはこの政策実現に歩調をあわせ、主に加工食品関連事業者を対象に『輸出の障壁』を克服するための情報収集、分析、公開といった活動を展開しています。

◆輸出の障壁とは?

国内と海外とでは食品をとりまく法制度が異なることから、様々な輸出障壁があります。

●食品添加物制度

- ●食品表示制度
- 食品容器·包装制度
- ●食品安全認証制度

◆輸出障壁克服のための取り組み

食品関連事業者の皆様がこれらの障壁を克服するうえで役に立つことを期待して、食品産業センターは輸出に関するWEBフンテンツ作りや様々な活動に取り組んでいます。

I. 海外輸出規制プラットフォーム

専門機関・輸出コンサルタントから得た輸出に関連する情報 よび調査結果をこのプラットフォームに集積し、食品関連事 業者の皆様にむけて公開しています。

- (1) 食品添加物規制
- (2) 食品表示規制
- (3) 食品容器·包装規制
- (4) 食品安全規制
- (5) 各種動画資料等

海外輪出現制プラットフォーム システムの使い方 取画で見る・ 東村で見る・ 東村で見る・ 東村で見る・ 東方変点を表現的のページト A方変点をお放射のページト A方変点を表現的のページト A方変点を表現的のページト

II. 海外食品添加物早見表

国内で使用可能な添加物が、輸出先(販売先国)で使用可能か否かが判断できる無料のデータベースです。

- ▶ 日本からの農林水産物の 輸出が多い、10の国・エリ アをカバー
- ▶ 日本と各国の食品添加物 を対比させて、輸出先国 での使用可否を○/×で 表示
- 各添加物について、輸出 先国の規制に関する詳細 情報も記載



III. 海外輸出相談窓口



食品関連事業者の皆様からの海外食品添加物早見表の詳細に関するご質問に対応できる様、専門家との無料の相談窓口をご準備しています。

また海外輸出規制プラットフォームのその他のコンテンツについても専門家とのネットワークがあります。食品関連事業者の皆様のお問い合わせに対して、補助事業の中で無料で輸出コンサルタントからアドバイスを得ることができます。

具体的には、輸出関連文書に関する相談、米国・EUなど規制の複雑な国・ エリアへの輸出相談といった実績があります。

IV. 海外輸出開発支援事業



食品産業センターは輸出規制の障害をうける食品関連事業者を補助 金で直接的に支援する無償の取組みも行っています。新たな商品の開 発に必要な代替添加物および包材等の検討費用、機器導入費用、 分析費用、表示作成費用および輸出先国に応じた認証取得等の費 用等を支援するため、1 社当たり定額で補助金助成を行っています。

この事業は輸出先国の標準仕様となる新商品や代替品の開発のモデルケースを作り、食品業界で共有するという狙いもあります。これまでに20社(令和4年度:6社、令和5年度:8社、令和6年度:6社)の助成実績があり、支援対象事業者の成果をセンターの主催するセミナーで公開するとともに、そのアーカイブ動画をプラットフォームで公開しています。



● 各種コンテンツへのリンク

●海外輸出規制プラットフォーム URL https://yushutukisei.com/	
●海外食品添加物プラットフォーム使い方 URL https://www.youtube.com/watch?v=ZVH7PifbFbI&t=17s	
●海外食品添加物早見表 URL https://yushutukisei.com/food_additives_list/	
●研修会資料(開発支援事業者事例紹介)URL https://yushutukisei.com/workshopmaterials/	07/40 07/40

●お問い合わせ先

一般財団法人食品産業センター 事業推進部 加工食品国際標準化対策事務局

〒102-0084 東京都千代田区二番町5番地5 番町フィフスビル

TEL: 03-6261-7824 MAIL: yushutu@shokusan.or.jp

